

こんにちは めぶき

平成30(2018)年3月30日発行



～ 学校の教育活動を支援する ボランティア編 ～

栃木県生涯学習ボランティアセンターに登録いただいているボランティアには、学校の教育活動を支援しているボランティアがたくさんいらっしゃいます。その中から、今回は朗読ボランティア「はなみずき」と点訳グループ「桐」の活動をご紹介します。

朗読ボランティア「はなみずき」

朗読ボランティア「はなみずき」は、栃木市で活動している団体で、今年で結成24年目を迎えました。結成当時は、現在も代表を務める高久文江さんを中心に、「路傍の石作品コンクール」の展示作業を行ったり、青少年と一緒に募金活動をしたりしました。また、街に青少年の声が響くように、少しでも青少年の健全化に寄与できればと「子ども朗読フェスティバル」を立ち上げました。10年ほどこのような活動を続けてようやく軌道に乗ったため、市内の小学校での朗読に活動の場を移したそうです。



小学校での読み聞かせの様子



手作りの紙芝居

現在10名の会員が所属しており、栃木第五小学校での読み聞かせを常時行っていますが、市内のほかの小学校にも出前を行い、今年度は栃木市内全小学校を訪問し、読み聞かせ等を行いました。また、幼稚園・保育園や中学校への訪問、高等学校の文化祭への参加も行っています。

「はなみずき」の活動は、栃木市出身の文豪山本有三先生作品の朗読や群読、紙芝居などを通して有三先生精神を子どもたちに伝えることで、青少年の健全化に寄与することを目的としています。

小さな子どもたちにもわかりやすく伝えるために、紙芝居を自分たちで手作りしています。また、毎週金曜日に栃木第六地区コミュニティセンターで、毎月第一日曜日にとちぎ市民活動センター「くらら」で、朗読に力を入れて勉強会を行っています。

「はなみずき」は朗読ボランティアですが、それ以外にもいろいろな活動をしています。会員の皆さんは、一人一人が得意分野をもっていて、老人ホーム訪問時には朗読等に加えて、草笛や大正琴、民謡舞踊も披露しています。平成29年は山本有三先生生誕130年を記念して、手作りの玉入れの玉紅白各130個を市内の小学校に寄贈しました。市民会館、特別養護老人ホーム、幼稚園、保育園等にも合計1000個を寄贈しました。

活動が続けてきてうれしいことは、子どもたちの元気な姿や笑顔を見られることだそうです。また、「この前の読み聞かせ楽しかったよ!」と声をかけられたり、幼稚園の時に読み聞かせを聞いた子が小学校に入学して「幼稚園で読み聞かせに来てくれた人だ!」と喜んでくれたりすることも、とても励みになっているそうです。



玉入れの玉贈呈式にて

点訳グループ「桐」

点訳ボランティア「桐」は昭和56年に発足し、今年37年目を迎えました。発足に尽力された初代代表を務めた桐生ワカ子さんの名前から「桐」の字をとり、団体の名前にしたそうです。県の研修で点字を学んだ桐生さんが、鹿沼市にも点字を広めたいという思いから、鹿沼市社会福祉協議会に依頼して点字の講習会を開講してもらえることになり、その講習会の修了生が集まって「桐」を立ち上げたそうです。



点字専用のプリンター

現代表の須田陽子さんは3代目になります。現在25名の会員が所属しており、鹿沼市内の全小学校で出前授業を行っています。中学校でも2校で出前授業を行っており、小中学校合わせて毎年約60時間、200名を対象に実施しています。「桐」の会員には、2名の視覚障害のある方が所属しており、学校の出前授業にはなるべく参加してもらうようにしています。小学校の授業では、しおりに自分の名前を点字で打ってもらうのですが、それを視覚障害のある方が実際に読み上げ、点字が正しく打てていたことがわかったと、子どもたちの“できた”という喜びがとても大きいそうです。また、点字の指導だけでなく、視覚障害のある方から日常生活体験の話の聞いたり、子どもがガイド役になって一緒に歩いたりといった活動も取り入れています。

学校での出前授業のほかに、鹿沼市議会だよりの点訳も行っています。現在13名の方が点訳したものを読んでいるそうです。議会だよりの点訳は7名で分担して作業を進めています。点訳はパソコンを使って行い、担当者がそれぞれ自宅で作業を進め、日にちを決めて集まっては、間違いがないか読み合わせをしたり、図や表などを点字でどう表すかを相談したりするそうです。最後は分担したものを合わせて点字専用のプリンターで印刷し、表紙をつけて完成させます。16ページの議会だよりが、点訳すると77ページにもなります。それを、議会だよりが発行されてから2週間で完成させるそうです。なかなか大変な作業です。今年度は新たに、社協だよりの点訳にも初めて取り組みました。社協だよりに、視覚障害がある方にとって必要な情報が多く掲載されており、利用者から大変ありがたがられているそうです。また、図書館や県立盲学校への点訳本の寄贈も行っています。

定期的な活動は鹿沼市立図書館で行っています。月2回の定例会では、たくさんある点訳作業等の分担を行い、毎週金曜日には勉強会を行っています。「桐」では、実際に視覚障害のある方と接したりともに過ごしたりすることで、視覚障害のある方を理解することを大切にしています。そのためにも、毎年2回、30名ほどの視覚障害のある方々と一緒にいろいろな場所に出かける交流会を実施しています。

活動が続けてきてうれしいことは、子どもたちに喜んでもらえることや点訳した本を「読んだよ」と言ってもらえることだそうです。そして、年2回の交流会が何より一番楽しいとのことでした。



小学校での出前授業の様子



小・中学生からのお礼の手紙

今回取材させていただいた二つのボランティア団体は、学校の教育活動を支援しているだけでなく、得意分野を生かして様々な社会貢献活動をされていました。また、各活動をより質の高いものとするために、定期的に勉強会を実施して会員のスキルの向上を図られていました。

永年にわたるこれらの活動が認められ、平成29年に朗読ボランティア「はなみずき」は第33回栃木県民福祉のつどいにおいて知事表彰を受賞され、点訳ボランティア「桐」は栃木県読書推進運動協議会会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。

これからもますます活躍されることを御祈念申し上げます。

学びの杜の冬休み ～ふれる・つくる・考える～

開催日：平成29年12月16日(土)

「ふれる」「つくる」「考える」をキーワードとした体験活動プログラムを子どもたちに提供するイベント『学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～』が開催され、今年度も多くのボランティアの方々に御協力いただきました。御協力いただいた登録団体の皆さんの活動をご紹介します。

・美味しい日本茶のいれ方教室・

日本茶インストラクター協会栃木支部

日本茶インストラクター・アドバイザーの皆さんが、日本茶の美味しい入れ方を教えてくれました。



・草笛を吹こう！・

葉生音の会

身近にある葉っぱを使って音を出す方法を教えてくれたり、葉笛の演奏を聴かせてくれたりしました。



・祭りの太鼓を聴き、たたいてみよう・

高根沢町南区お囃子保存会

祭り囃子を聴かせてくれたり、囃子のリズムに合わせた太鼓のたたき方を教えてくれたりしました。



・まゆを使ってストラップを作ろう・

栃木県メディアボランティア

まゆで作ったねこの顔に絵をかいいたりリボンをつけたりして、かわいいストラップの作り方を教えてくれました。



・親子で学ぶ電波教室(FMラジオ製作)・

栃木県電波適正利用推進員協議会

ラジオを作ることを通して、電波の性質と電子回路のはたらきを教えてくれました。



・民話語り・

美寿々民話宇都宮支部「さくら」

地域に伝わる民話や昔話を聴かせてくれました。場面を頭に思い描き、お話の世界に引き込まれました。



・釣って・遊んで・わかっちゃった・

センターボランティアの会

テーマに合った絵がどれかを考えながら釣り上げる、楽しいゲームを体験させてくれました。



・おこづかいゲームをやってみよう！・

栃木県金融広報委員会

「おこづかいゲーム」でお金の大切さ、使い方を楽しく教えてくれました。



・はじめてのゲームプログラミング・

CoderDojoさくら

Scratchを使って簡単なパソコンゲームの開発の仕方を教えてくれました。



このほか、当日は約100名の高校生ボランティアにも、運営等のお手伝いをしていただきました。ありがとうございました。





センターボランティアの会です！

「もう一度やりたい！」「これで3回目！
今度は磁石なしでやりたい！！」

平成29年12月16日(土)、開放事業「学びの杜の冬休み～ふれる・つくる・考える～」に参加した『釣って、遊んで、わかった』の一コマです。昨年度大好評だったので、今年度も実施しました。

カレーの材料は？昆虫は？といったテーマを選び、ブルーシートで作った池の中からテーマに合った絵を釣り上げます。絵にはクリップがついており、釣竿の糸の先には磁石がつけてあります。高学年の子やチャレンジしたい子には、磁石の代わりにフックをつけて、クリップに引っかけて釣ってもらいました。フックで釣り上げるには集中力が必要ですが、チャレンジした子どもたちは粘り強く取り組み、見事釣り上げた時の笑顔はひとしおでした。100組以上の親子が参加してくださり、楽しい時間を過ごしていました。折り紙で作ったこまと手裏剣のおみやげも大変人気で、折り方を教えてほしいとの要望に、突然折り紙教室も始まりました。

窓からの日差しも暖かく、笑顔の絶えない冬の日を、センターボランティアのスタッフも満喫しました。



Do you know?

～春を見つけよう～



総合教育センターに通い始めて、何年になるだろうか？と思う時があります。ずいぶん長いこと通っていますが、いつも目的の場所に直行してしまい、外を眺めることなどしていませんでした。

昨年のある時、玄関を入り正面に見える広い中庭を眺めました。向かって左側に教育相談棟があり、その奥に、真っ赤な花を付けている樹を見つけました。一重の赤い花をびっしりとつけた樺の樹です。大島樺でしょうか？とてもきれいで感動しました。

およそ、3月下旬から4月上旬の間に見られると思います。機会がありましたら、ぜひ見ていただきたいと思います。春がきたなあと感じられる一時になることでしょう。

ふっと立ち止まるって大切かもしれませんね。



<生涯学習ボランティアについてお気軽にお問い合わせください>



栃木県生涯学習 ボランティアセンター (栃木県総合教育センター内)

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070
TEL. 028-665-7207 FAX. 028-665-7219
URL
<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki/>



芳賀教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒321-4305 真岡市荒町116-1
TEL. 0285-82-3324 FAX. 0285-82-5140
メールアドレス
haga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



那須教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒324-0056 大田原市中央1-9-9
TEL. 0287-23-2177 FAX. 0287-23-2193
メールアドレス
nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



河内教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒321-0974 宇都宮市竹林町1030-2
TEL. 028-626-3183 FAX. 028-626-3180
メールアドレス
kawachi-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



下都賀教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒328-8504 栃木市神田町6-6
TEL. 0282-23-3422 FAX. 0282-23-3502
メールアドレス
shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



安足教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒327-8503 佐野市堀米町607
TEL. 0283-23-1471 FAX. 0283-23-4274
メールアドレス
ansoku-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



上都賀教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒322-0068 鹿沼市今宮町1664-1
TEL. 0289-62-7167 FAX. 0289-62-0148
メールアドレス
kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



塩谷南那須教育事務所生涯学習 ボランティアセンター

〒329-2163 矢板市鹿島町20-22
TEL. 0287-43-0176 FAX. 0287-43-0535
メールアドレス
shioya_minaminasu-kyoiku@pref.tochigi.lg.jp

